

第94回企画展

# くらしの道具 今昔モノがたり

てんわき  
電話機



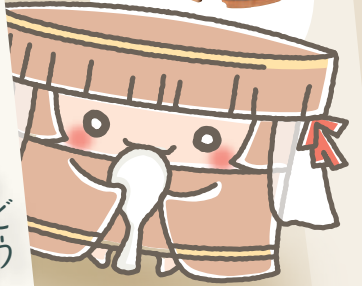
めしびつ  
飯櫃



おわんワン



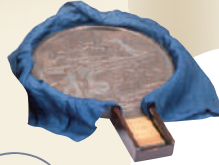
わん  
お椀



めっい



アンドン



えかがし  
柄鏡と鏡掛



カガミル



まるあんどん  
丸行灯



ほがま  
羽釜



ハガマー



ひのし  
火熨斗



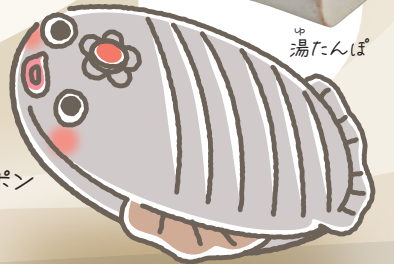
ヒノッシー

第94回企画展  
公式キャラクター  
#むかしの道具を知ってる会  
七つ道具っず

Folk implements of all times and places



ゆたんぼ



ユタポン

## 2024 1/17 WED ▶ 3/4 MON

会場：天理大学附属天理参考館 3階企画展示室

開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）

休館日：毎週火曜日

入館料：大人500円、団体（20名以上）400円、小・中・高生300円（学校団体の見学は無料、事前申込が必要）

※障がい者とその介護者1名は無料。受付カウンターに障がい者手帳等またはミライロIDをご提示ください。

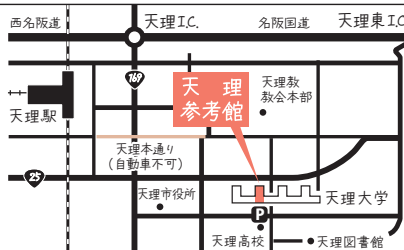
主催 天理大学附属天理参考館 後援 天理市、天理市教育委員会、歴史街道推進協議会

協力 近畿民具学会、天理大学附属天理図書館、天理大学文学部歴史文化学科

世界の生活文化と考古美術の博物館  
天理大学附属天理参考館  
TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8474 FAX 0743-63-7721 URL <https://www.sankokan.jp/>



### アクセス

- ◆ JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分
- ◆ 西名阪天理インターより南へ約3km

駐車場あり（無料）

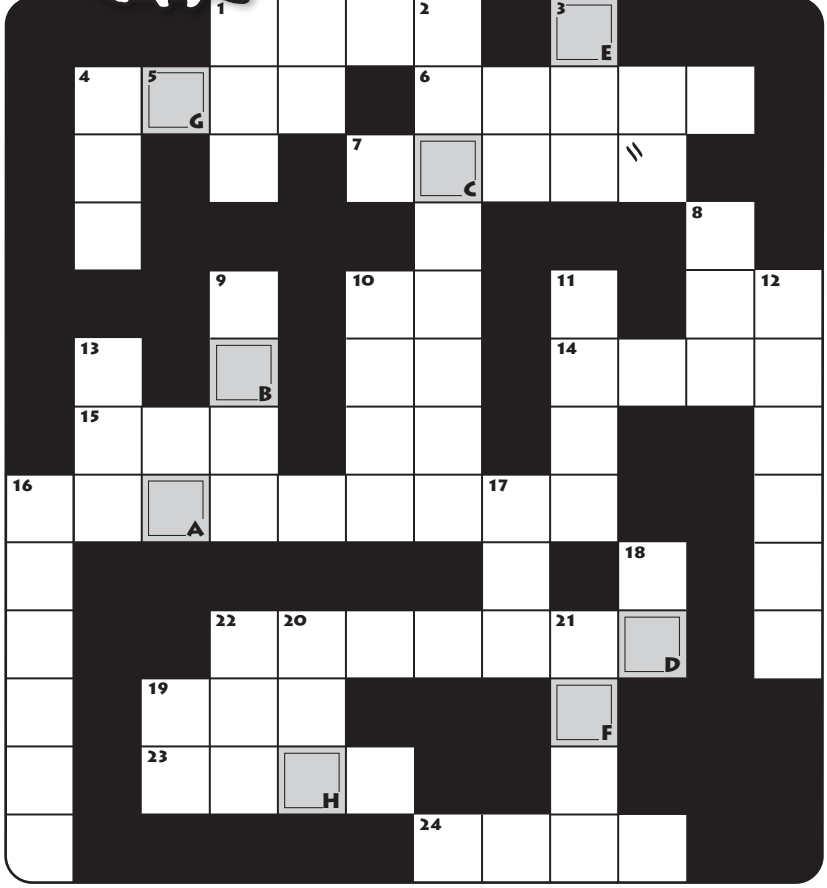
期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります

参考館で資料を見てクロスワードを完成させよう!

日本のくらしのなかで使われてきた道具は、時代の営みを反映して、さまざまな変化を遂げてきました。長い時間を経て受け継がれてきた道具を観察すると、モノを大切にしたい、モノに込められた先人たちの知恵と工夫を感じ取ることができます。それらが遙か昔に生まれ、伝来したときはどんなモノだったのか。同じモノが他の国でも同じ使われ方をしているのか。時代の流れを経糸に、地域の広がりを経糸に、紡ぎ出す広大な『今昔モノがたり』を、本展で読み解いていただきます。



## 昔の道具クロスワードパズル



こたえ  

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

### ヨコのカギ

- 1 布を縫うときに使う針や糸などを収納しておく
- 5 必要ときに箱から出して「〇〇かけ」に置いてヘアスタイルを整える ※カガミル
- 6 野菜をすりおろす
- 7 ものをつぶしたり、つくときに使う丸い棒「〇〇〇〇」
- 14 紙や炭を燃料にする持ち運びできる小さなコンロ
- 15 鍋や釜をかけて火熱を利用して調理するところ
- 16 けとぼしても中の灰がこぼれずに水平が保たれるこたつ
- 19 中に入れた炭火の熱で布のしわをのぼす ※ヒノッシー
- 22 えんとつのようなものがついているアイロン
- 23 寒くなるとお湯を入れて布でくるみ足元をあたためる ※ユタボン
- 24 ごはんや汁をよそう道具で江戸時代ごろに「しゃもじ」とよばれるようになった



かいてんしき 回転式こたつ

### タテのカギ

- 1 胸まわりに羽がついてかまどでごはんを炊く ※ハガマー
- 2 電気がない時代に氷を入れて食べものを保存した
- 3 米などを蒸す
- 4 ブラウン管を使って遠くはなれた映像を楽しんでいたが、近年はプラズマ液晶で色を調整する
- 8 着物などをしまっておく箱で、藤や竹、柳などで編む
- 9 小皿に入れた油に灯心をひたして火をともし ※アンドン
- 10 そでを通して横たわる昔のふとん
- 11 ごはんの湯気を吸っておいしく保つ ※めっしい
- 12 ギザギザ面でごすって布のよごれを落とす板
- 13 食べものをに入れて運ぶ道具で一つになっている
- 16 酒屋の貸し出し容器で、客はここにお酒を入れてもらって持ち帰る
- 17 丸くて浅い、水やお湯を入れて使う道具
- 18 木製も焼も同じ呼び名の食器 ※おわんワン
- 20 「足ふみ〇〇〇」は足の動力で布を縫うので電気は使わない
- 21 ハゼの木の実からしぼった油が原料

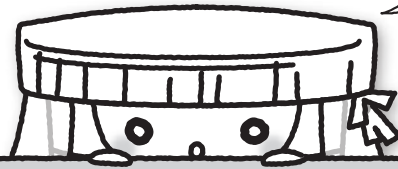


すすび 炭火アイロン



かまど 徳利

## 関連イベント (要入館券)



**ムセイオンバトル**  
 一参考館のイチ推しはコレだ！  
 1月18日(木) 13:15 ~ 14:15

天理大学の教員、専攻の学生、学芸員がそれぞれ本展イチ推しの資料を熱く語ります！当日観覧の皆様にご投票いただき、最高得票数の資料に投票した方の中から1名様にご館のグッズをお渡しします。

出演：齊藤 純(天理大学教授)  
 天理大学文学部歴史文化科学科学生 幡鎌 真理(当館学芸員) 他

会場：当館企画展示室

- ◆トーク・サンコーカン (当館学芸員による講演会)
  - 13:30 ~ 15:00 会場：当館研修室 定員：100名(当日先着順)
  - 1月24日(水) 講師：幡鎌 真理 「くらしの道具 古今東西モノがたり -SDGsな生活実践-」
  - 2月22日(木) 講師：梅谷 昭範 「道具にみる龍とドラゴンの東西比較文化」
- ◆ワークショップ「わらの亀づくり」 めでたい!
  - 2月10日(土) 講師：佐々木久育 元当館学芸員
  - 13:30 ~ 15:30
  - 会場：当館研修室 定員：70名 参加費：600円(入館料・資料代・保険代含)

事前申込制  
 申込み方法はこちら



- ◆ギャラリートーク「#むかしの道具を知ってる会」全6回 いずれも月曜日 (マンデートーク)
  - 1月22日 「ちゃぶ台と平等」
  - 1月29日 「“鍋道”ではなく“庖丁道”のワケ」
  - 2月 5日 「おひとりさまの温もり」
  - 2月19日 「木の恵みがはぐくむ道具」
  - 2月26日 「『舌切り雀』のおばあさんの言い分」
  - 3月 4日 「コロンブスの交換」
  - 13:15 ~ 13:35 講師：幡鎌真理 当館学芸員 会場：当館企画展示室

- ◆寒の味噌づくりを見てみよう
  - 2月3日(土) 講師：渡辺百代 当館職員
  - 13:30 ~ 15:00 会場：当館2階ホール
  - ※時間内随時見学可能、試食や持ち帰りはありません

会期中、木食住に関するアンケートを実施します。回答者には本展公式キャラクターを印刷した硬券切符を1枚進呈いたします。

